令和4年度 北信総合病院 医師労働時間短縮計画

計画期間

令和4年4月～令和6年3月末（2年0ヶ月）

対象医師

北信総合病院 本院常勤医師（85名）（2022年4月時点）

1. 労働時間と組織管理（共通記載事項）

（1）労働時間数

本院常勤医師（85名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績（R3）	当年度目標（R4）	計画期間終了年度の目標（R5）
月平均	24時間58分	25時間00分 以下	25時間00分 以下
月の最長	99時間35分	80時間00分 以下	80時間00分 以下
960時間超～1,860時間の人数・割合	0人・0%	0人・0%	0人・0%
1,860時間超の人数・割合	0人・0%	0人・0%	0人・0%

（2）労務管理・健康管理

【労働時間管理方法】

前年度の実績（R3）	・ 出勤簿（上長確認）による自己申告 ・ 勤怠管理システムを用いた管理
当年度の実績目標（R4）	・ 出勤簿（上長確認）による自己申告 ・ 勤怠管理システムを用いた管理の定着 ・ 勤怠管理システム使用についての医師向け説明会の実施（年2回程度）

	<ul style="list-style-type: none"> ・医局内への IC リーダーの設置 ・医師の時間外労働に関する基準の作成（業務と自己研鑽のルールを周知） ・医師の自己申告等により副業・兼業先の労働時間の把握
計画期間中の取組目標（R4～R5）	上記事項に取り組む

【宿日直許可の有無を踏まえた時間管理】

前年度の実績（R3）	宿日直許可は取得済み
当年度の実績（R4）	宿日直許可に基づき適切に取り組む
計画期間中の取組目標（R4～R5）	宿日直許可に基づき適切に取り組む

【医師の研鑽の労働時間該当性を明確化するための手続等】

前年度の実績（R3）	特になし
当年度の実績（R4）	・時間外労働時間申請の明確化（業務と自己研鑽のルールを周知）
計画期間中の取組目標（R4～R5）	上記事項に取り組む

【労使の話し合い、36 協定の締結】

前年度の実績（R3）	<ul style="list-style-type: none"> ・36 協定の見直し（時間外労働の上限時間） ・「労務管理チェックリスト」を活用した自己点検 ・職場内掲示等によるスタッフへの周知
当年度の実績（R4）	上記事項に取り組む
計画期間中の取組目標（R4～R5）	同上

【衛生委員会、産業医等の活用、面接指導の実施体制】

前年度の実績（R3）	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生委員会の定期的開催（月 1 回程度） ・産業医の選任・把握 ・健康診断を年 1 回程度実施（未受診者への受診促し。受診期間や場所等、受診しやすい環境に整える。） ・長時間勤務者と産業医との面接の場を設定
当年度の実績（R4）	上記事項に取り組む
計画期間中の取組目標（R4～R5）	医師の健康診断受診率 2021 年度 83.1%にて、100%を目標とする。

【追加的健康確保措置の実施】

前年度の取組実績 (R3)	—
当年度の取組目標 (R4)	・対象者をモニタリングし、該当者には連続勤務時間制限、勤務間インターバル確保及び代償休息確保を可能とする勤務体制の検討をする ・月の時間外・休日労働が 155 時間を超えた医師への労働時間短縮措置の実施
計画期間中の取組目標 (R4～R5)	上記事項の検討・実施

(3) 意識改革・啓発

【管理者マネジメント研修】

前年度の取組実績 (R3)	管理者マネジメント研修の実施 (2/17 厚生連医療を考える研修会、2/24 トップマネジメント研究会)
当年度の取組目標 (R4)	国等が実施する病院長や管理者向けの研修会へ参加し適宜報告・周知を行う
計画期間中の取組目標 (R4～R5)	上記事項に取り組む

【働き方改革に関する医師の意識改革】

前年度の取組実績 (R3)	働き方改革に向けた取組事項の報告と周知 (管理者会議、診療科長会議、医局会議等)
当年度の取組目標 (R4)	上記事項に取り組む
計画期間中の取組目標 (R4～R5)	同上

【医療を受ける者やその家族等への医師の働き方改革に関する説明】

前年度の取組実績 (R3)	院内掲示やホームページ等を活用した各種取組の広報
当年度の取組目標 (R4)	上記事項に取り組む
計画期間中の取組目標 (R4～R5)	同上

(4) 策定プロセス

・事業所長、産業医、診療部長、その他医師、看護師、診療協力部、事務部門らが参画する勤務

改善プロジェクト会議を年に数回開催、R4年度初回会議にてこの計画の検討を行い策定した。
 ・案の段階で、対象医師やタスク・シフト先となる職員等が参集する各種会議で説明し、意見交換を実施するとともに、策定後には当該計画を医局に掲示等するほか、各職場責任者にはメール配信とした。

2. 労働時間短縮に向けた取組（項目ごとに任意の取組を記載）

（1）タスク・シフト／シェア

【看護師・助産師・保健師】

<p>計画策定時点での取組実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に取り決めたプロトコールに基づく薬剤の投与、採血・検査の実施 ・ 救急外来における医師の事前の指示や事前に取り決めたプロトコールに基づく採血・検査の実施 ・ 特定行為研修を終了した看護師による、特定行為実施（R4年4月時点、気道確保に係るもの・動脈血液ガス分析関連・術後疼痛管理関連） ・ 血管造影・画像下治療(IVR)の介助 ・ 注射、採血、静脈路の確保等 ・ カテーテルの留置、抜去等の各種処置行為 ・ 診察前の情報収集、トリアージ、AI問診等 ・ 入院センターでの患者説明（R3拡充済） ・ 助産師外来
<p>計画期間中の取組目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記事項の継続 ・ 特定行為研修を受講する看護師を増やす

【薬剤師】

<p>計画策定時点での取組実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周術期の薬学的管理等 ・ 病棟等における薬学的管理等 ・ 事前に取り決めたプロトコールに沿って行う処方された薬剤の投与量の変更等 ・ 薬物療法に関する説明等 ・ 医師への処方提案等の処方支援
---------------------	---

計画期間中の取組目標	・ 上記事項の継続
------------	-----------

【診療放射線技師】

計画策定時点での取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 撮影部位の確認、検査オーダーの代行入力等 ・ 血管造影・画像下治療(IVR)における補助行為 ・ 放射線検査等に関する説明、同意書の受領 ・ 放射線管理区域内での患者誘導
計画期間中の取組目標	・ 上記事項の継続

【臨床検査技師】

計画策定時点での取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心臓、血管カテーテル検査、治療における直接侵襲を伴わない検査装置の操作 ・ 病棟・外来における採血業務 ・ 輸血に関する定型的な事項や補足的な説明と同意書の受領 ・ 生理検査、生体材料標本、特殊染色標本、免疫染色標本等の所見の報告書の作成
計画期間中の取組目標	・ 上記事項の継続

【理学療法士・作業療法士・言語聴覚士】

計画策定時点での取組実績	・ リハビリテーションに関する各種書類の記載・説明・書類交付
計画期間中の取組目標	・ 上記事項の継続

【医師事務作業補助者】

計画策定時点での取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療録等の代行入力 ・ 各種書類の記載 ・ 医師が診察をする前に、医療機関の定めた定型の間診票等を用いて、診察する医師以外の者が患者の病歴や症状などを聴取する業務 ・ 日常的に行われる検査に関する定型的な説明、同意書の受領 ・ 入院時のオリエンテーション
--------------	---

計画期間中の取組目標	・ 上記事項の継続
------------	-----------

(2) 医師の業務の見直し

計画策定時点での取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療科ごとの体制ではなく、交代で1日当直当たり2人体制とし、宿日直しない診療科はオンコール体制とする ・ 宿日直を担う医師の範囲の拡大（パート医師の参画等） ・ 月、水曜午前の手術枠拡大 ・ 土曜午前の手術枠確保 ・ 当直明けの休みの推奨 ・ 外来の機能分化（紹介・逆紹介の活性化） ・ 主治医チーム制の導入 ・ カンファレンスの勤務時間内実施や所要時間の短縮 ・ 病状説明の勤務時間内実施と患者・家族への周知徹底 ・ クリティカルパスの作成等による業務の標準化 ・ 研修医の学習環境の向上（上級医による教育時間の確保）
計画期間中の取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記事項の継続 ・ クリティカルパス、2021年度現在108種類、使用率39.9%にて、45%前後を目標とする。

(3) その他の勤務環境改善

計画策定時点での取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ Web 会議システム、院内グループウェア等の積極的活用 ・ 患者家族へのリモートIC ・ 医師が短時間勤務等を希望した場合に受け入れ、活用できる環境がある ・ 子育て世代の医師が働きやすい環境を整備（短
--------------	--

	<p>時間勤務、時差出勤、変形労働時間制の導入、宿日直の免除等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内保育所の運営。病児・病後児保育施設（敷地内）の受託 ・地域の病院間での機能分化（休日診療所への患者誘導） ・開業医や非常勤医師による病院外来支援 ・病院診療所間の双方向の診療支援 ・介護、福祉の関係職種との連携等 ・患者相談窓口の設置（クレームを受けた場合のサポート体制の充実）
計画期間中の取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・上記事項の継続

（４）副業・兼業を行う医師の労働時間の管理

計画策定時点での取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・副業・兼業先がある場合、届出制とし、管理者の承認を得る。
計画期間中の取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・上記事項の継続

※本項目は副業・兼業を行う医師がない場合には記載不要。